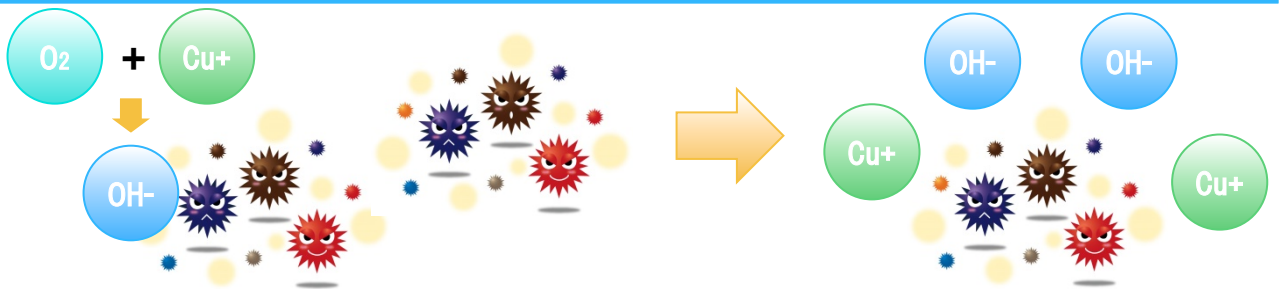


# 抗ウイルス液 『TVi-4000』

印刷物の風合いを変えずに、抗ウイルス機能を付加するアルコール溶液。  
液は低粘度の為、薄紙にも対応(46 70kg程度、弊社コーター使用の場合)。

- ・ほぼすべてのインク、トナーへの密着性良好。
- ・ベタ印刷でも効果が発現します。
- ・PPへは、コロナやプライマー処理することなく塗布することが可能です。
- ・ユポなどの合成紙へも密着は良好です。

## 『TVi-4000』抗ウイルス性・抗菌性のメカニズム



ウイルスや菌が、TVi-4000塗布物にぶつかった際、銅イオンが溶出。銅イオンと酸素が反応して活性酸素が発生。

銅イオンと活性酸素の2つのパワーで、ウイルスや細菌を減少させます。

### <機能と効能について>

- 本製品は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。
- また、医療を目的としたものではありません。
- 抗ウイルス性能は、全てのウイルスに対して発言するものではありません。
- 抗ウイルス性能は、検査機関による試験結果であり、実際の使用状況により異なる場合があります。
- 本品は、ウイルスや細菌による感染を完全に防ぐものではありません。
- 抗ウイルス・抗菌効果は本品の表面に付着したウイルスに対して発現するものであり、感染予防を保証するものではありません。
- 本品は、変色する場合がありますが、性能上問題は有りません。

【抗ウイルス活性値】TVi-4000をコート無し品の24時間静置後のウイルス感染価から、TVi-4000コート有り24時間静置後のウイルス感染価を引いた値です。コート有りとし無しでは、99.99%以上減少した試験結果となりました。

抗ウイルス液	ウイルス感染価 [Log/PFU/cm <sup>2</sup> ]	24時間後ウイルス感染価 [Log/PFU/cm <sup>2</sup> ]	抗ウイルス活性値
有り	5.57	< 0.80 ※	> 4.19 (99.99%以上減少)
無し	5.57	4.99	

試験ウイルス：インフルエンザウイルス  
(H3N2、A/Hong Kong/8/68)  
宿主細胞：MDCX細胞(イヌ腎臓由来細胞)  
感染値測定法：プラーク法  
試験方法：ISO21702

(参考) 抗ウイルス SIAAマーク性能基準  
試験方法：ISO21702  
抗ウイルス性能基準：抗ウイルス活性値2.0以上  
試験ウイルス：A型インフルエンザウイルス  
及びネコシリカウイルスのいずれか一種以上

なお、上記試験結果は、一定条件の下での試験結果であり、「医薬品、医療機器などの品質、有効性及び安全性の各日に関する法律」(薬機法)第68条(承認前の医薬品などの広告の禁止)の規制及び、「景品表示法」第7条第2項(不実証広告規制)の規制により、エンドユーザー様への配布はご遠慮ください。

With/afterコロナにおけるニューノーマルの一つとして、予防・衛生意識が高まっています。

印刷の分野においては、不特定多数の人や、繰り返し手にする機会が多い印刷物に抗ウイルス機能を与えることにより、安心して手に取っていただける製品となります。

名刺



クリアファイル



メニュー



各種案内(リーフレット、パンフレット)



アルバム  
(フォトアルバム、卒園・卒業アルバム)



など。

### 【 取り扱い上の注意 】

本液はアルコール溶液です。水分と反応することで、分離凝固いたします。  
使用時、コーター内に水分が残置していないことを必ず確認してください。  
また本液を希釈時は、純度100%のIPA及びミックスエタノールをお願いします。



株式会社トヨタック

〒278-0015 千葉県野田市西三ヶ尾77-2

TEL:04-7121-0755 FAX:04-7121-0740